

S Lモルタル天端用  
標準施工要領書

二瀬窯業株式会社

## コンクリート打設時の処理

コンクリート打設時に極端な不陸ができないようにして下さい。

コンクリート打設は仕上がり天端より 10 mm 下がりが標準です。(最低 5 mm は確保)

## レベル表示

約 50 cm 間隔でアタリを設置して下さい。

## SL モルタル天端用の流し込み

- ・コンクリート表面のブリージング水が引いてから、SL モルタル天端用の施工を行って下さい。部分的にブリージング水が残っている場合には、ウエス、スポンジで除去して下さい。
- ・SL モルタル天端用の混練  
SL モルタル天端用 1 袋 (25 kg 入り) に対し、所定の水量で混練して下さい。所定量の水をバケツに入れ、高速ハンドミキサーで攪拌しながら SL モルタル天端用を徐々に投入して下さい。ダマが無くなるまで 3 分程度攪拌して下さい。

気温	練水量(1袋当量)
5℃～25℃	6.5～7.0ℓ
25℃以上	7.0～7.5ℓ

- \* 天候(晴天・曇天)や直射日光等により水量の調整を行って下さい。
- \* 低温時の施工の際は練水の入れ過ぎに注意して下さい。硬化不良を起こす恐れがあります。
- ・混練した SL モルタル天端用は 40 分以内に使用して下さい。
- ・混練完了後、流し込み容器に移した SL モルタル天端用を、端部よりレベルまで、逆流させないようにゆっくりと一定方向に流し込みます。レベルの調整は 1 度に行うようにし、時間をおいて打ち継ぎを行わないで下さい。
- ・トンボ・コテ等により表面の均しを行って下さい。
- ・打ち継ぎ部など、ならし作業は 15 分以内に完了させて下さい。
- ・コンクリート打設した当日にやむをえず SL モルタル天端用の施工が出来ない場合(降雨等)には、コンクリート硬化後表面のレイタンス等を除去した後、SL モルタル天端用の施工を行って下さい。
  - \* コンクリート打設後、翌日施工の場合には水打ちしてから SL モルタル天端用の施工を行って下さい。
  - \* コンクリート打設後、数日経ってからの施工の場合には、ユニレックス 3 の 4 倍液を塗布し、乾燥後 SL モルタル天端用の施工を行って下さい。

## 養生

- ・直射日光、風雨を避けるため、施工後は必ずシート養生を行って下さい。  
夏季は特に乾燥が早い為、早めにシート養生を行って下さい。  
低温時には SL モルタル天端用の硬化が遅れるので、型枠脱型までに 2 日以上養生をして下さい。

## 硬化後の処理

- ・型枠解体後に SL モルタル天端用端部のバリを除去して下さい。

## 注意事項

- ・気温が 5℃以下または 5℃以下になると予想される時は、施工を避けてください
- ・SL モルタル天端用には他のものを混入しないで下さい。
- ・固まったものの使用は、避けて下さい。
- ・開封後の材料は、使いきってください。